

京都探究ワーク **歴史** ②



すがわらのみちぎね **菅原道真**について知ろう。 解説



道真の年表

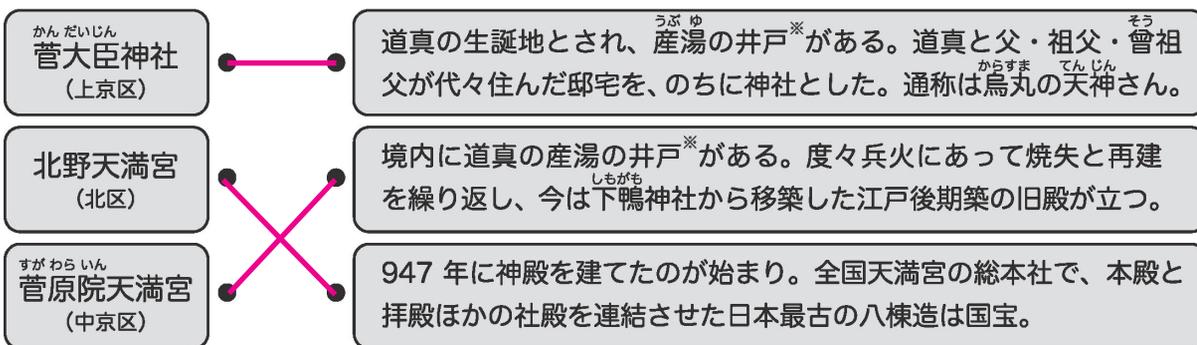
845年 誕生	894年 ① の大使に任命された際に
862年 <small>もんじょうしょう</small> 文章生となる	① の停止を提案
877年 <small>はかせ</small> 文章博士となる	897年 <small>ごんだいな ごん う ごんえの だいしょう</small> 権大納言と右近衛大将(右大将) <small>けんにん</small> を兼任する ※この年に宇多天皇が醍醐天皇に譲位する
886年 <small>さぬきもり</small> 讃岐守を任せられる	899年 右大臣と右大将を兼任する
890年 讃岐国から京に戻る	901年 <small>だざいふ させん</small> 太宰府へ左遷される ※左大臣・藤原時平らのたくらみによる
891年 <small>くろうどのとう</small> 蔵人頭に任せられる <small>うだ</small> ※宇多天皇から信頼を得る	903年 太宰府で亡くなる

〔設問1〕 年表の①に当てはまる用語はなんでしょう。

① 遣唐使

〔設問2〕 京都市内にある道真ゆかりの神社について、名称と説明を線で結んで正しく組み合わせよう。

>>>リンク
右記の各寺社名には、それぞれ公式サイトへのリンクが付けてあります。(菅大臣神社のみ公式サイトがないため別サイト)



*道真の産湯に使ったと伝わる井戸は、国内に複数あります。

〔設問3〕 菅原道真は、死後、神様としてまつられるようになりました。神としてあがめられることになった経緯について説明した次の文章の空欄に、下記の中から適切な言葉の番号を当てはめて、文章を完成させよう。

※下の言葉には、次の文章に当てはまらない言葉も含まれています。

- ① おき 隠岐の島 ② 太宰府 ③ 太宰府天満宮 ④ 北野天満宮 ⑤ ご縁
⑥ やくさい 厄災 ⑦ 逆襲 ⑧ 出世 ⑨ 学問 ⑩ たたり

文章博士を務めたあと、役人としても能力を発揮し、宇多天皇から厚い信頼を得て朝廷の重要ポストに就いた道真でしたが、それに反感を持つ貴族らの策略によって無実の罪を着せられました。宇多天皇の後を継いだ醍醐天皇の地位を道真が奪おうとしているという作り話が流され、醍醐天皇により ② に左遷されたのです。道真は左遷先で2年間無実を訴え続けていましたが、願いはかなわず無念の死を遂げました。その死後、都では道真を都から追い出した関係者が次々と死んだうえ、平安宮大内裏の天皇の御殿に落雷があり、複数名が亡くなりました。たび重なる ⑥ に、都の人々は道真の ⑩ と恐れるようになり、怨霊を鎮めるために ④ を建てて道真を神としてまつりました。以来、道真は落雷を呼び起こす天神となり、天神信仰が起りました。のちに、道真の学問的才能にあやかりたいと願う信者が増え、 ⑨ の神様としてお参りされるようになりました。